

研修・デモ
プログラム
1

日時 6月12日(土) / 16:30~17:20 (50分)

会場 Bデモコーナー

マイクロスコープを使いこなして ゆくためのミラー活用法

講師



磯崎 裕騎 先生

香川県高松市開業
GEPEC会員
pdpコース インストラクター

今日、マイクロスコープを使って診療することを患者さんが意識する時代になりました。マイクロスコープを効果的に使用して、より精度の高い治療を患者さんに提供するために、ミラーテクニックの実践が重要視されてきています。そのための基本条件として、もっとも安定して望ましい条件であるといわれています「pd診療」では、無理のない姿勢で、高い集中力を保ちながら精密な作業を続けることが可能になります。

今回の講演とあわせて、モリタ展示ブース内におきましても、マイクロスコープを用いた「pd診療」デモンストレーションを実施いたしますので、この機会にご参加いただきます様ご案内申し上げます。



研修・デモ
プログラム
2

日時 6月13日(日) / 14:00~14:50 (50分)

会場 Cデモコーナー

セレック CAD/CAM オールセラミック修復を 成功させるために ~現代のオールセラミック修復材料の分類とその接着の条件~

講師



岡村 光信 先生

1977年 九州歯科大学卒業
1993年 インディアナ州立大学歯学部補綴科大学院終了
1994年 福岡市博多区開業

現代の歯冠修復はセメント合着(機械的嵌合)から、レジンセメントおよびコンポジットレジンによる化学的接着(化学的結合)へと大きく変化してきました。また修復材料、スタイルもすべてにおいてメタルフリーが可能となりミニマムインターベーション(MI)を考慮しながら、より切削量の少ない、より歯質の保存を考えた歯冠修復へと変化をとげています。本講演ではセレックCAD/CAMオールセラミック修復の臨床例をあげながら、セラミック-レジン-歯牙の境界面にスポットをあて、さらに接着材料の解説もまじえながら現代のオールセラミック修復への理解を深めたいと思います。

American College of Prosthodontics, American Academy of Fixed Prosthodontics
日本歯科理工学会、日本補綴歯科学会、日本接着歯学会
ISCD公認セレクトレナー、JSCAD会長、福岡臨床補綴研修会主宰
日本歯科理工学会認定デンタルマテリアルシニアアドバイザー
日本歯科理工学会 評議員

